

会 議 録

会 議 名	令和7年度第3回音更町総合計画審議会
開 催 日 時	令和7年6月16日（月）午後6時30分から8時30分まで
開 催 場 所	【第1部】音更町役場3階 特別会議室 【第2部】音更町役場3階 301・302会議室
委 員 出 席 者	大平会長、木野村会長職務代理者、阿部委員、内形委員、作田委員、島田委員、清水委員、本田委員、谷口委員、中村委員、波多野委員、林委員、美馬委員、村瀬委員、森田委員 <p style="text-align: right;">【計15名】</p>
町 側 出 席 者	吉田総務部長、井原町民生活部長、深谷保健福祉部長、重堂経済部長、月居商工観光担当部長、赤崎議会事務局長、高瀬建設部長、高橋学校教育部長、山本生涯学習部長、佐藤総務部法制担当次長、山田総務部情報政策担当次長、山本町民生活部木野支所長、工藤総務課長、新名町民課長、背戸田福祉課長、木谷農政課長、和田都市整備課長、高野上下水道課長、水戸教育総務課長、原田生涯学習課長、岡本とちかち広域消防事務組合音更消防署長、西岡まちづくり推進課長、齋藤まちづくり推進課土地利用担当課長、津村秘書広報課長、櫻井広報係長、大田財政課長、定村子ども福祉課長、藤原健康推進課長、三橋健康推進課保健担当課長、鎌田高齢者福祉課長、赤渕商工観光課長 <p style="text-align: right;">【計31名】</p>
	<p>《事務局》</p> <p>大井企画財政部長、川村企画課長、田副企画調整係長、高木企画調整係主事、塩越企画調整係主事、石川企画調整係主事 【計6名】</p> <p>《委託事業者》</p> <p>株式会社北海道二十一世紀総合研究所 河原調査研究部長 【計1名】</p>
議 題 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長あいさつ 3 議件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 分野別基本計画調書（第4章・第5章）について (2) 地方版総合戦略の策定に向けた意見交換について（これまでの審議を踏まえ、重点的に取り組むべき事項に関する意見交換） 4 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 今後のスケジュールについて 5 閉会
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○令和7年度第3回音更町総合計画審議会議案 ○第6期音更町総合計画基本計画見直しシート（第4章・第5章分） ○令和7年度第2回音更町総合計画審議会及び審議会後に出された意見等への対応調書 ○総合計画審議会意見交換【第2部資料】 ○地方創生2.0基本構想（案）（概要）
会 議 結 果	<ol style="list-style-type: none"> 3 議件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 分野別基本計画調書（第4章・第5章）について 資料「第6期音更町総合計画基本計画見直しシート（第4章・第5章分）」に基づき、事務局から説明を行い、次のとおり意見等が出された。 (2) 地方版総合戦略の策定に向けた意見交換について（これまでの審議を踏ま

	<p>え、重点的に取り組むべき事項に関する意見交換) 資料「総合計画審議会意見交換」に基づき、事務局から説明を行った後、2つのグループに分かれて意見交換を行い、次のとおり意見等が出された。</p> <p>4 その他 (1) 今後のスケジュールについて 議案2ページの記載内容に基づき、事務局から説明を行った。 なお、次回の会議を令和7年8月6日(水)に開催することが決定した。</p>
<p>出された 主な意見等</p>	<p>3 議件 (1) 分野別基本計画調書(第4章・第5章)について</p> <p>○帯広大谷短期大学の学生や農業研修生等への支援内容について、高校・中学段階から早めに情報提供するとともに、高齢者・転職希望者まで幅広い層へ働き掛けることで、町への関心や定住促進につながるのではないかと。</p> <p>○UIJ ターンについて、町外から戻ってきた人を地域産業の担い手として雇用につなげられるような制度設計が必要。例えば、商工会へ就職希望者の情報を提供し、企業側とマッチングできるような仕組みを使えないかと。</p> <p>○農村部や農協等では女性が議決権を持つ場に入りづらい実情がある。高齢になってからではなく、若いうちから女性が育っていく環境づくりが必要。</p> <p>(2) 地方版総合戦略の策定に向けた意見交換について(これまでの審議を踏まえ、重点的に取り組むべき事項に関する意見交換)</p> <p>【A グループ】</p> <p>○産業振興とまちの魅力発信 ・農業の振興を図ることで、全てが盛り上がる。都会になりすぎてもまちの魅力が低下する。 ・経済が良くなれば人が集まる。ここにしかないものでまちの魅力を発信すべき。</p> <p>○公共交通の利便性 ・公共交通がとても大事。移動が便利になれば人が集まる。健康寿命にも関係する。 ・コミュニティバスに高校生の利用が見られず、若年層にとっても利用しづらい。 ・農村地域予約制乗合タクシーの事業を農村部だけではなく、市街地でも利用可能にしてほしい。 ・特に冬季間、高齢者の医療へのアクセスが不便になる。</p> <p>○人口減少と自然増政策 ・子どもの医療費を無料にしている自治体は若い人が集まる。人口増加とまちの活性化につながる。</p> <p>○まちづくり・居場所の不足 ・若者(特に高校生)が放課後に集まることができる「目玉」となるような場所が町内にない。 ・デートや人との関わりを通じてリテラシーが育まれるという観点から、年齢や性格に応じた「楽しい場所」が必要。</p> <p>○雇用と移住</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用機会はあるが、満足できる賃金が得られないと移住やUIJターンにはつながらない。 ・「きちんとした雇用の場」が確保されることが移住促進には不可欠である。 <p>○音更高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校の立地が市街地から離れており不便。 ・昔は売店があったが今はなく、柳町地区辺りにあれば他校との連携もしやすいのではないか。 <p>○男女共同参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「男女共同参画」という言い回し自体が時代遅れではないか。 ・若者や女性の社会参加や参画に関して、もっと先進的に取り組んでいくべきではないか。次世代に向けた準備が重要。 <p>○情報提供・アプリ活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てアプリ「すくすく」は良い。 ・音更町専用のアプリがあれば、子育て、防災（熊の出没など）、生活情報などを一元的に提供できるのではないか。 <p>○空き家活用と移住促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家情報を町が信頼性をもって管理し、家賃や築年数なども含めて提供すれば、移住者にとって安心材料になる。 ・不動産のポータルサイトを町が主体的に管理してほしい。 <p>○若者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UIJ ターンだけではなく、町民が都会に出ていくときの補助も必要ではないか。 <p>【B グループ】</p> <p>○生活インフラ・買い物環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町地区にスーパーがA コープしかなく、車を持たない人（高齢者や障がい者）にとって買い物が困難。 ・バスやタクシーの運転手不足も深刻で、今後更に困難が予想されるため、早急な対策が必要。 <p>○空き家・未利用地活用と企業連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家や未利用地の活用にもっと力を入れてほしい。 ・後継者対策、企業とのマッチング支援も課題であり、積極的に取り組んでほしい。 <p>○情報発信と防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS 詐欺が多発しているため、町の LINE アカウントなどを活用し、注意喚起や周知を進めてほしい。 <p>○人口減少と自然増政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明石市のように医療費無償化や保育料無償化といった「自然増」型の対策に成功している事例を参考にしてほしい。 ・音更町でも第2子までの保育料無償化が始まるが、より積極的な人口政策が必要。 <p>○産業振興・加工業種の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音更町では生産から加工まで完結できる体制がなく、加工業種の誘致が必要。 ・輸送コストの上昇を踏まえ、地元加工ができる企業の立地が求められている。
--	---

	<ul style="list-style-type: none">○観光・内外需の促進<ul style="list-style-type: none">・観光客が町内で消費をしてもらえるよう、外需拡大の視点が必要。・十勝川温泉までのアクセス道路が草で覆われるなど、観光地としての印象を損なっている。 ○高校生の定着・通学環境<ul style="list-style-type: none">・音更高校の立地が不便で通学費も高く、生徒確保に不利。・若者が集まる場づくりも併せて進める必要あり。 ○文化資源の認知度向上<ul style="list-style-type: none">・町歌を知らない人が多い。・町歌や伊福部昭をはじめとする文化資源などのPR強化が必要。 ○子育て施策<ul style="list-style-type: none">・今後建設される予定の屋内型遊戯施設には、ママさんたちも期待している。・町の施策とママさんからのニーズにギャップが生じないよう、ママさん当事者の声を積極的に聞き、子育て施策全般に反映してほしい。 ○交流促進・まちの活性化<ul style="list-style-type: none">・昭和商学校 Palette で定期的に行われているマルシェを本町地区でも開催できるようにすれば交流が深まり、町の活性化にもつながるのではないかと。・本町地区の活性化が必要。若い人が集まり、にぎわいが生まれる。
--	--